

広報 富士がわ

No. 382

発行/富士川町 総務課
〒421-33富士川町岩淵121
☎81-1111

5月号

●平成5年5月5日発行



— 町のメモ —

平成5年5月1日現在	
人口	18,082人
増減	-11人
男	8,916人
女	9,166人
世帯数	4,972世帯
面積	30.92km ²

第一小学校では、10年程前から『校舎をきれいにしよう!』をスローガンに、毎朝7時30分から8時までの30分間、6年生の自主活動として教室、校庭、花壇など学校周辺の清掃作業をおこなっています。写真は、4月のある日、前の晩の強風で散った役場の前の桶の落ち葉を片付けている様子です。カメラを構えると「もっと早く来てくれればよかったのに……ここいら一面が落ち葉だらけだったんだヨ!」という元気な声がかえってきました。

私たちのまちは、かつて東海道、
身延道、河岸、渡船場など、交通
の要所として栄えました。とくに、
富士川水運による交易は、まさに
経済的な繁栄をもたらしました。
現在も、東海道線、新幹線、国道

かつて私たちのまちは、塩の道と呼ばれる山梨方面との交易に利用さ
れた通船(堅乗り)と、東海道の渡船(横渡し)でにぎわっていました。
このたび、平成三年度の通船(高瀬舟)の復元に続き、渡船(平田船)
が復元され、四月十日、中央公民館に収納されました。

一号線、東名高速道路など、日本
の交通の大動脈が通っています。
しかし、これによって恩恵を受け
ているとはいえません。たとえば、
富士川橋は慢性的に渋滞していま
す。まるで、交通の動脈瘤のよう
です。

太郎君は、朝夕、ラジオで富士
川橋の渋滞が報道されているとこ
とを知りました。そして、「昔の人
は、どうやって川を渡ったんだろ
う？」という疑問をもちました。

『渡船が復元されたヨ。』



『昔はどいやって川を渡ったの?』

太郎 昔の人は、どうやって富士
川を渡ったんですか?
博士 承和二年(八三五)、奈良の
大安寺の僧忠一が浮橋を造ったと
いう記録が残っているけど、たい
ていは川の浅瀬を歩いて渡ったて
いたようだ。渡船がいつから始ま
ったのか確証はできないけれど、

に編集された「駿河国地誌類」に、
室町時代末期までは東岸の川成島
と西岸の蒲原を結ぶ線で渡船がお
こなわれたという記録が残ってい
るからだ。室町時代末期までは、
吉原の間屋・矢部家が富士川と吉
原川の渡船を司っていたという記
録もあるよ。

『岩渚渡船はいつ頃から始まったの?』

博士 天正年間(一五七一〜一五
九〇)、それまで富士川と吉原川を
司っていた矢部家から、富士川だ
けが分離して、川成島村の齋藤家
が渡船を司るようになった。
太郎 なるほど。
博士 太郎君は、富士川が日本三
大急流のひとつであることを知っ
ているよね?

太郎 はい。知っていますか?
博士 江戸幕府の創設と前後し
て、富士川の川瀬が変わってしま
い、川成島村で渡船ができなくな
ってしまっんだ。
太郎 えっ!?
博士 このため慶長七年(一六〇
二)、幕府は御定賃銭を決め、定渡
船として岩渚村に渡船役を課した



常夜燈 (上り場付近)

んだ。その時に川成島村の齋藤縫
左衛門、本市場の常葉伊右衛門、
河東の常盤弥兵衛ら、川成島渡船
の渡船役人も岩渚村に移住したん
だよ。

太郎 岩渚渡船ですね。
博士 そうだ。しかし、その後、
参勤交代など、東海道の交通量が
激増し、岩渚村単独で渡船役を負
担しきれなくなるんだ。

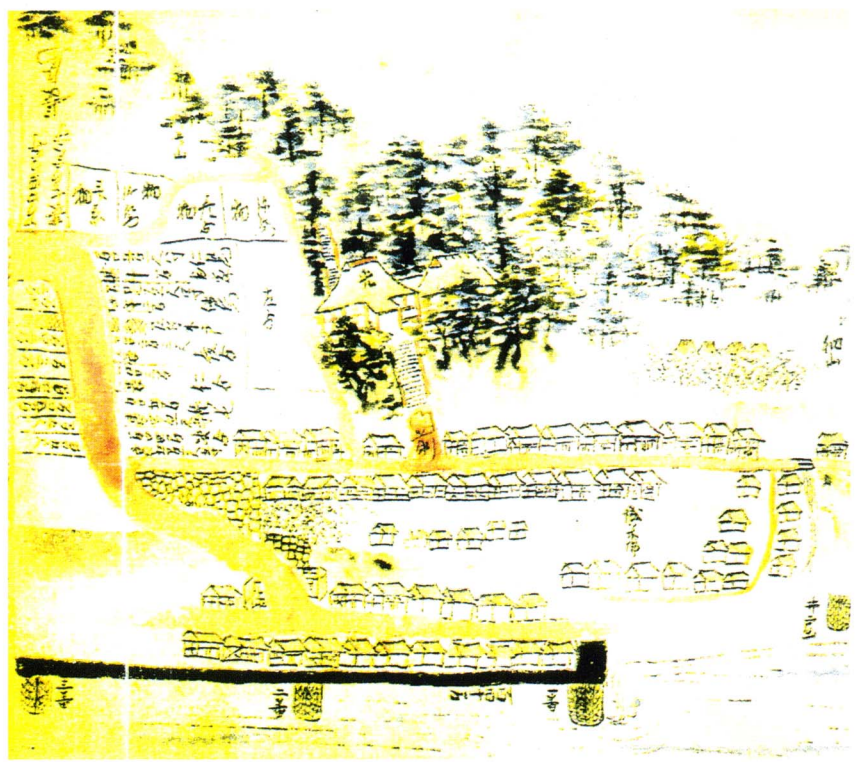
『岩渚渡船はどいやっておこなわれたの?』

太郎 渡船はどこでおこなわれて
いたんですか?
博士 幕府は瀬向きのよい場所を
見立てて渡船をおこなうように定
めていた。具体的には、西岸は木
島村との境の尼ヶ渚から中之郷村
との境まで、東岸は木島の対岸の
松岡村一番出しとよばれる突堤か
ら川下へ二〇丁(二・ニキヨ)ほど
の間で、上渡船、中渡船、下渡船

太郎 それで?
博士 寛永十年(一六三三)、岩本
村が渡船役の三分の一を分役する
ことになり、渡船の運営や出費を、
岩渚村と岩本村で二対一の比率で
分けることになったんだよ。
博士 現在、舟山町の常夜燈のた
つているあたりと推測されてい
る。そこには西岸の共通の上り場
があったんだよ。



復元された渡船 (6月17日に進水予定)



岩渚渡船場(河岸場)付近の絵図

『渡船で富士川を渡ったんだネ。』

渡船を復元したのは、近藤友一郎さん（焼津市在住）です。近藤さんは、現在、和船建造者として活躍されています。古代から近世までの和船建造者は非常に少なく、県内では近藤さんただひとりです。全国の展示用和船の三分の一は、近藤さんが製作したものだということです。

『どんな船が富士川を渡ったの？』

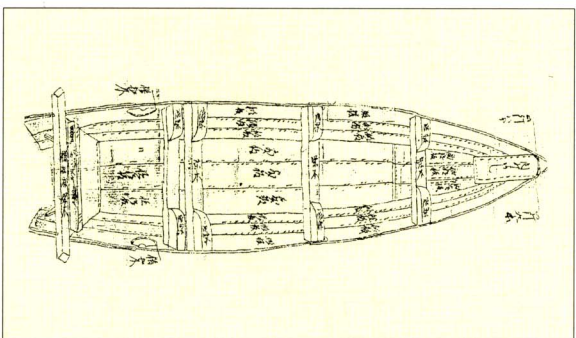
太郎 渡船のほかに富士川を利用していた船は？

博士 ハハハ、横渡しの渡船に対して、堅乗りけん乗りの通船があった。この通船について少し説明しよう。

慶長二年（一六〇七）と同一九年（一六一四）、角倉了以すみのりと角倉玄之のりによって富士川の開塞がおこなわれ、元和元年（一六一五）から富士川の上り下り一八里の通船がおこなわれるようになったんだ。

そして、岩渕の河岸場がしなばと鰍沢かじざわ、黒沢、青柳など甲州三河岸との間に、

博士 高瀬舟と呼ばれる、長さ約一三丈、幅約一・八丈、深さ約〇・七丈で、モミ材で造られた船だ。太郎 なるほど。じゃあ、渡船はどんな船だったんですか？



渡船図

博士 渡船は、何艘あったんですか？

太郎 六艘が常備されていて、平日には三艘が当番船として使われ、附船つけせんと呼ばれた残りの三艘は、交通の多い時に使われたんだ。渡船は幕府の費用で毎年三艘新造され、新造の三艘は当番船に、古い三艘は附船に使われていたんだよ。また、渡船のほかに、幕府の公用などには高瀬舟、交通量の多い時には沼久保村の助役船すけやくせんが使われることもあったんだ。

太郎 渡船一艘で、どれだけの荷物を運ぶことができたんですか？

博士 人は三十人、牛や馬は四匹まで乗ることができたんだ。



明治後期の岩渕渡船（水神の森とJR東海道線の鉄橋が見える。）

『どんな組織で運営されたの？』

太郎 一艘の渡船に、何人の船頭が必要だったんですか？

博士 船頭五人がかりで、一艘の渡船をあやつったんだ。しかし、対岸へ渡ると船頭の交代がおこなわれたので、一艘に一〇人の船頭が必要だったんだよ。平日の当番船が三艘だから、合計三〇人の船頭で渡船にあたったんだ。この三〇人を岩渕村と岩本村で二対一に割りふったんだよ。

（一〇名の名目）		（六組の略称）	
斎藤	縫左衛門	（1）縫	組
望月	孫右衛門	（2）孫	権組
望月	権左衛門	（3）弥	組
常盤	弥兵衛	（4）伊	甚組
常葉	伊右衛門	（5）重	組
望月	甚右衛門	（6）三	人組
斎藤	重右衛門		
望月	億右衛門		
望月	久右衛門		
斎藤	儀左衛門		

太郎 渡船を運営する組織は、どのようになっていたんですか？

博士 岩渕村には一〇名の渡船方わたせんかた名主がいたんだ。この渡船方名主が組織になり、組子とともに六組の主のうち毎日二人が当番として渡船会所へ出勤していたんだよ。

太郎 船頭たちは？

博士 岩渕村の渡船は毎日二艘で、二〇人の船頭が勤めていたんだけど、この二〇人はさきほどの六組の中の二組で分担していたんだ。つまり、一組が一〇人を分担することになる。

『船頭の賃金いくらだったの？』

太郎 船頭たちの賃金はどのように支払われたんですか？

博士 富士川の渡船は幕府が課した定渡船じやうわたせんだったから、幕府から渡船役金が与えられたんだ。渡船役金は一株あたり五貫二〇〇文。岩渕村の渡船役は六〇株だったから三二二貫文だ。これを各組平等に一〇株ずつ配分したんだ。渡船役金は、江戸末期には二倍の六二四

子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
子	子	丑	卯	辰	辰	未	未	申	酉	戌	亥
縫組	孫権組	弥組	伊甚組	重组	三人組						

十二支割（子から亥までの12日間をサイクルに各組が分担していた。）

貫文、明治三年（一八七〇）には三倍の一三六八貫文になっていた。船頭には渡船方名主から、雇賃やうちんとしてこの渡船役金が支払われたんだ。また、船頭には船賃の揚高の四分の三が配当されたんだよ。ちなみに、岩本村の渡船役金は一四四貫文だった。

太郎 岩渕村には何人の船頭がいたんですか？

博士 時代によって数は変わるけれど、だいたい八〇人くらいの船頭がいたらしいよ。

太郎 なるほど。ところで、渡船方名主たちにはどんな手当があったんですか？

博士 渡船方名主たちには船賃の揚高の三分の一の配当と、幕府から渡船役金が与えられていたんだよ。



『川を渡るって大変なんだネ。』

復元された渡船は、長さ五間四尺、幅五尺二寸、深き二尺で、底が平たいので平田船と呼ばれました。平田船は、六月一六〜一七日に私たちのまちを訪問するお茶壺道中の一行を歓迎するイベントとして進水されます。お茶壺道中は、実際に渡船で富士川を渡る予定です。

『渡船賃はいくらだったの？』

太郎 渡船を利用する旅人たちは幕府が岩淵村に渡船役を課した時、どれだけの渡船賃を払ったんですか？

博士 慶長七年（一六〇二）に、荷一五〇キロまでで永楽銭三文、の

定路次中船賃之覽
一 荷物壹駄二付、永楽三文宛之事
一のりかけ二ハ、永楽武文之事
一 れんぢやくあき人二ハ、老文之事
一 川の出時も、右之如、舟賃二相違無遅々二様二早々可渡事
一 びた銭ハ、永楽二六文立二取引可被成候事
右之条々、御奉行所より被仰付候間、如此書付置申候者也、仍如件、
慶長七年六月十日

りかけは、馬一匹と積荷七五キロまでと旅人一人で永楽銭二文、れんぢやくは、荷物を背負った旅人で永楽銭一文と定められたんだ。武家は無賃だ。渡船賃はたびたび改定されたけどネ。
太郎 びた銭と永楽銭って？
博士 永楽銭とは、明の時代に铸造され通貨で、江戸初期まで日本でも通用していたんだ。これ以外の銭はびた銭と呼ばれていたんだよ。このため、永楽銭とびた銭の通用比率があったんだ。

『富士川が増水した時はどうしたの？』

太郎 富士川が増水した時、渡船は止まったんですか？

博士 もちろん渡船は止まった。増水して渡船が止まることを川留、減水して渡船が開始されることを川明といったんだ。

太郎 川留と川明の基準はあったんですか？

博士 三月から九月までを夏川といつて、水の深さ二・四ハルを基準

と、水位として、〇・六ハル増水すると渡船に馬を乗せて川を渡ること、

〇・九ハル増水すると渡船に人を乗せて川を渡ることを止めたんだよ。それぞれ、馬越留、歩行留というんだ。また、一〇月から二月までの冬川は、水深一・八ハルを基準水位として、夏川と同様の増水量で、馬や人の渡船が止められたんだ。夏川では、増水すると舟竿

が川底につかなかつたし、冬川は寒さが厳しく船頭の働きが充分にできなかったらしいよ。

太郎 川留は、たびたびあったんですか？

博士 宝暦八年（一七五八）には、馬越留が九一日、歩行留が四五日あったという記録がある。八月はほとんど川留だ。

太郎 うわくつ、すごい。



大正後期の岩淵渡船（水神の森付近、対岸に岩淵が見える。）

『岩淵渡船はいつまで続いたの？』

太郎 渡船はいつまで続けられたんですか？

博士 徳川氏が慶応三年（一八六七）、政権を返し二六〇余年の江戸幕府が終わったことは知ってるよね？

太郎 大政奉還ですね。

博士 その後、明治四年（一八七一）、明治政府によって渡船役に終始符がうたれるんだ。

太郎 渡船がおこなわれなくなっ

てしまったんですか？

博士 宿駅、すなわち街道の要所

のために必要な馬や人夫を中継する設備を定めた制度が廃止された



富士川橋の開通(大正13年)

けで、渡船は引き続き自由営業でおこなわれたんだよ。明治時代になると岩淵渡船だけでなく、富原橋付近、蓬萊橋付近、南松野でも渡船がおこなわれたんだよ。

太郎 富士川に橋がかかるまで渡船は続いたんですか？

博士 そのとおり、富士川橋、蓬萊橋、富原橋がかかるまで、渡船は続けられたんだ。岩淵渡船につ

いては、明治九年（一八七六）に富士川橋が架けられたんだけど木橋だったためすぐに洪水で流失してしまつたため、大正一三年に鉄橋が架けられるまで続けられたんだよ。

太郎 富士川橋は、朝夕渋滞しているようですが、一日にどれくらいの車が富士川橋を渡っているんですか？

博士 平成四年五月におこなわれた交通量調査によると、約一八七〇〇台という結果がでている。

太郎 うわくつ、すごい。

博士 単純に比較することはできないけれど、文政元年（二八一八）

六月に、一日平均一〇〇人が渡船賃を払って富士川を渡っていたという記録があるよ。

太郎 昔も今も、川を渡るということは、大変だったんですね。博士 そうだね。



来月号で何を質問するのか
思案中の太郎くん...

※6月号では東海道を特集します。

まちづくりネットワーク

まちの話題



コアスタッフがまとめた

『未来のまちづくりへの提言』

発想 ↓ 理論 ↓ 実践……



野田山の日本一のすべり台
(第一小学校・渡辺広樹くん)

三月二六日、中央公民館で、FBIのコアスタッフの全体会議がおこなわれました。スタッフの皆さんは、昨年七月の全体会議をかわきりに五分科会に分かれ、まちづくりについての議論を繰り返してきており、NHKテレビでスタッフの活動状況が報告されるなど、町内だけで



「すばらしい提言だなぁ。」

なく、町外でも注目をあびてきました。全体会議では、①東名富士川SA周辺の活性化、②生ゴミの減量化とボカシの試作、③幼児とその親を対象とする「親子のつどい」、④野田山周辺の活用と自然復元、⑤南米からの外国人労働者との交流などの活動報告やまちづくりの提言がおこなわれました。

まちはこれらの提言をうけ、平成五年度予算に①生ゴミ処理(ボカシの原材料)、②自然復元(ビオトープ実験調査)、③国際交流(語学講座)など総額五三万七千円を計上しました。

『優しい人たちネ。』

外国人との人権懇談会

三月二五日、地域福祉センターで、人権擁護委員と町内で生活している外国人労働者(日系ブラジル人)との懇談会がおこなわれ、生活上の不便や教育問題などについての意見交換をしました。

外国人の皆さんの私たちのまへの印象は、言葉や文字などの



「日本は暮らしやすいネ。」

国際交流アンケート結果報告

年代別	回収数				登録希望者		
	男	女	計	全体比	男	女	計
10代	0	4	4	13%	0	4	4名
20代	1	1	2	6%	0	1	1名
30代	4	5	9	28%	3	5	8名
40代	3	3	6	19%	3	2	5名
50代	3	3	6	19%	3	3	6名
60代以上	3	2	5	15%	3	0	3名
合計	14	18	32	100%	12	15	27名

広報ふじかわ1月号の紙面を利用しておこなった、国際交流アンケートに32名の方から回答がありました。このうち27名が国際交流人材バンクに登録を希望しています。まちは、このアンケートをもとに人材バンクを作成し、今後の国際交流に活用していきます。

老人のゴミ拾いに思う……

朝早く、ビニール袋を持ってゴミを拾って歩く老人を見ました。条例でポイ捨てを禁止したまじのことが報道されました。雑草を刈り取った後に、ビンや缶でいっぱいのは道や、犬の糞をそのままにしている……

光景を目にしたことがありません。ゴミを拾っている老人の姿は、誰もが持っている「美しくしたい」という気持ちに訴えているようでした。「また来たいまじ」であって欲しいと思つています。そのために、一人ひとり

のモラル向上心を刺激するものが欲しいと思います。

数十年先を夢見た「自然の復元計画」を具体化していけたらと思います。実践を通じて培われる人々のモラルは、人、所、時、物、それにお金を大切にする「日本一の富士川町」を創造していくに違いありません。

まちづくりの達人登場



吉田貞夫さん(コアスタッフD)

名勝

町指定文化財第2号 はたご池

昔、この池のある山のあるふもとに意地悪い姑と優しい嫁が住んでいました。ある年、姑は嫁に三日と迫った秋祭りにまにあうように布を織ることをいいつけました。嫁は夜も寝ないで布を織り続けましたが、祭りの前日になっても織りあがらなかったため、織りかけの布と織機をもつて池に身を投げました。それからこの池は「はたご池」と呼ばれるようになりました。



星の子 261 三利太



3月21日

4月20日届出分

(敬称略)

すこやかに

区名	氏名	保護者	続柄
旭町	木島 佐藤あすか	泰敏	長女
坂下	小山 渡辺 基 護		長男
相生町	蓮池 麻綾 正彦		長女
坂下	勝呂 真次 功		長男
西村	和也 和宏		長男

かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	海野まさ江	76
坂下	望月 あき	80
四十九町	坪内 文作	64
大楽窪	長谷川高世	56
本通一	依田 はな	83
東町一	瀧 章	30
東町二	齋藤みや子	80
南町一	平野 昶	83
堺町	望月 貴仁 一彦	長男
四十九町	加藤友紀乃 大助	2女
東町一	高倉 康平 克則	2男
東町一	杉浦 友暉 典宏	長男
東町二	早房 智美 弘之	2女
南町一	鈴木 康平 富勝	2男
南町二	望月慎太郎 徹	長男
富士見町	錦織 秀敏 晃	2男
八幡町	立川 詩織 晃	長女
八幡町	角田 拓也 宜博	2男
中野台一	平林 花菜 武	2女

まちへの寄付

3月21日～4月20日
(敬称略)

- ◆社会福祉事業へ 平野宏文 50,000円
- ◆ふじばら作業所へ 上野直記 242,502円
- ◆井上文庫へ 井上俊久 100,000円

みかんや椎茸が入っているナイロン製のネット。小さくなつた石鹼を入れて水道に吊るしたり、植木鉢の底に敷いて土が出ないように利用している方も多いと思いますが、ゆでたジャガイモをネットの中に入れてギュッと押し出すと、アツという間にマッシュポテトの出来上がり。ただし、面倒でも一個ずつやるのがよいようです。また、ハンパグのタネをこねるのに、手ではどうも苦手という方に、ナイロンのネットをすりこぎにかぶせて混ぜることをおすすめします。すりこぎにもタネがつきにくく、らくらく調理ができます。そのほか、ゆで卵を粗みじんにする時も試してみてください。きつと重宝すると思います。

婦人会 清

お母さんの知恵袋

ナイロンネットの
こんな使い方